

企業間システム連携の検討

SI分科会

主査 原嶋 秀次(東芝)

SIの観点からの検討

➤これまでのDOPGの活動 :

CORBA, EJBなどについて, 標準仕様に基づき相互接続性を検証

➤SI分科会のアプローチ

実際のシステム構成を考慮した検討をスタート(2001.6.)

✓現実世界のニーズをベースとしたシステム構成の検討

今後の重要な手段になると予想される, Webサービスによる企業間システム連携に着目

✓用途を考慮した検証内容のリストアップ

分散オブジェクト環境による企業内システムのアプリケーションと, 別の企業内システムのアプリケーションのSOAPを介したメッセージングを第一候補に

➤メンバー

沖電気工業, サイベース, 東芝, 日本アイオナテクノロジー, 日本オラクル,
日本電気, 日本ユニシス, 日立製作所, 富士通

システム構成の検討

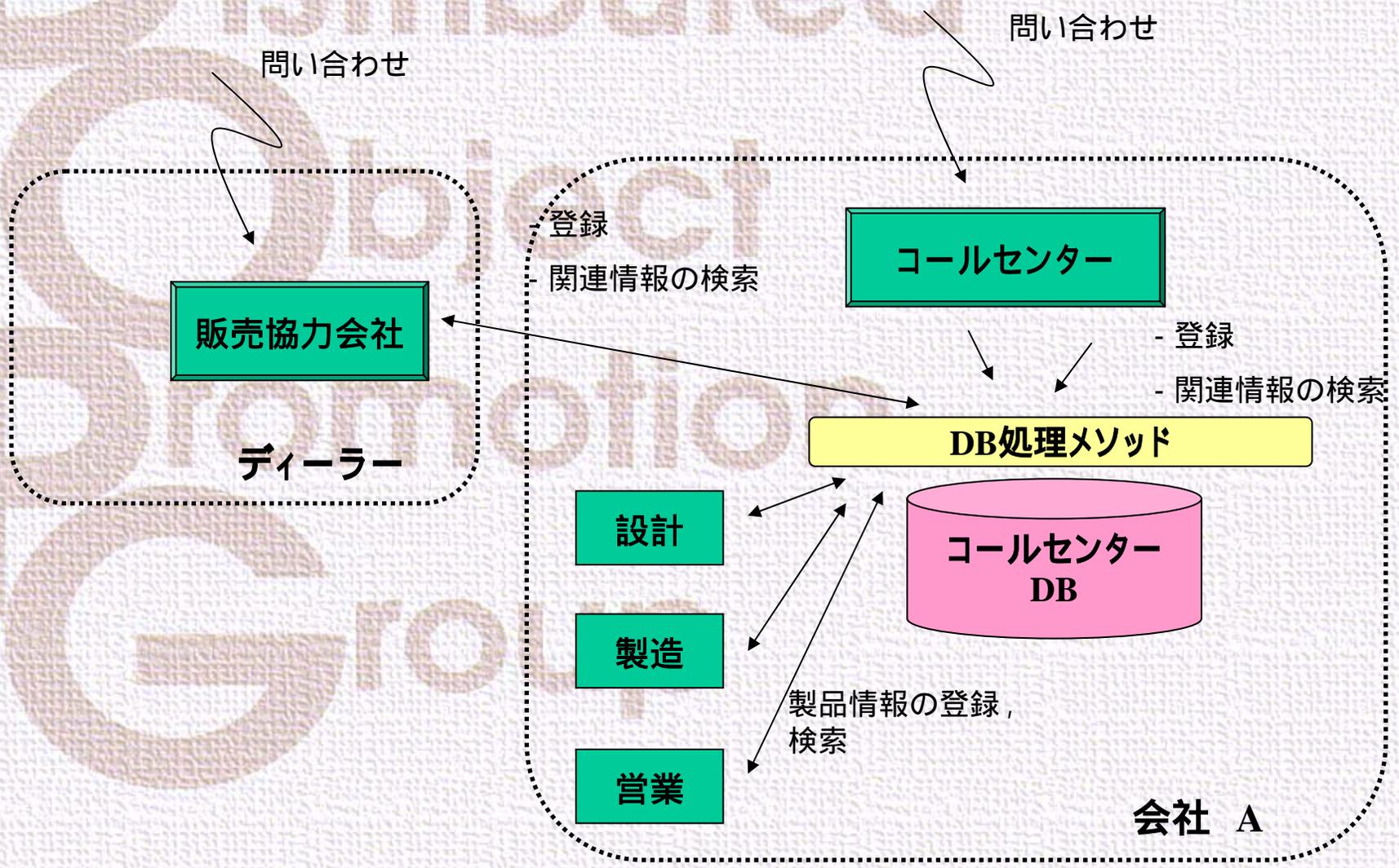
システム構成をSIの観点で抽象度の異なる3つの段階にわけて検討

アプリケーション層: どのようなアプリケーションが必要で、それらがどのように関連するのか？を検討

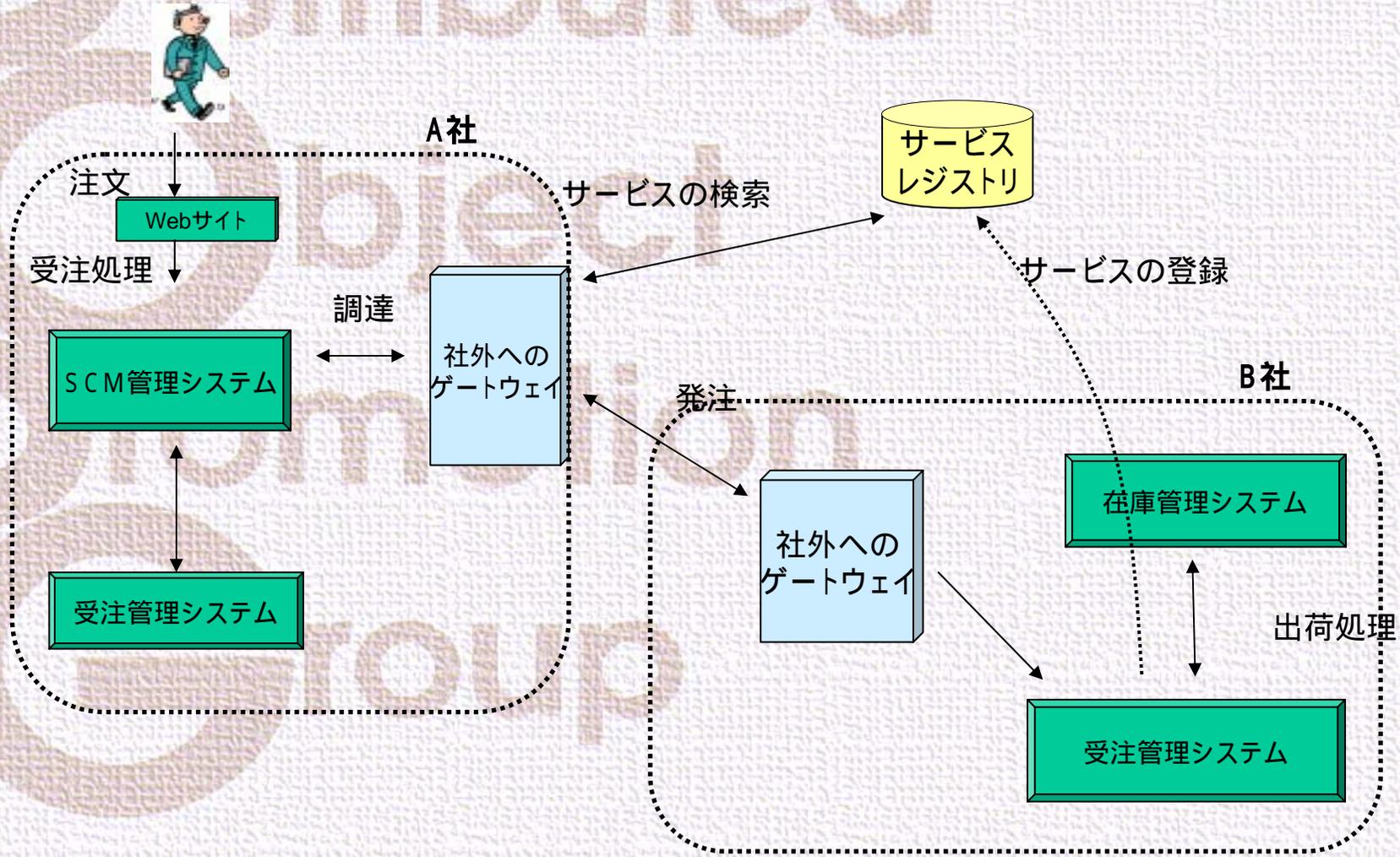
モデル層: アプリケーション層で検討した構成をRMI, SOAPによるメッセージ送受信, データベースなど, コンピュータシステムの機能にブレイクダウン

システム層: モデル層の構成を, 実際のソフトウェアコンポーネントにブレイクダウン

典型的構成例 1



典型的構成例2



検証すべき項目

A社とB社のアプリケーション間で実現されるべきことは...

・メッセージング

同期 / 非同期, 通知, シーケンスに沿ったメッセージ交換, ...

・リソース管理情報

・セッション管理

・セキュリティ

データの暗号化, 電子署名, 識別・認証, ... など

これらの検討をもとに, 構成例2と同様のパターンのテストプログラムを作成.

設計手法に関する検討

基本方式の設計ノウハウとして、前述の抽象度に応じた3段階のモデルの検討方式
アプリケーション層からモデル層、システム層へのブレイクダウンがポイント

OMGで提唱するMDA (Model Driven Archtechture)を検討。プラットフォームに依存しないPIM(Platform Independent Model)およびプラットフォームに依存するPSM(Platform Specific Model)はモデル層 - システム層の関係に相当。

今回、システム間連携の部分に関してPIM PSMへの展開を2つのプラットフォーム(SOAP,IIOP)に適用し、その有効性を確認

The
istributed

bject

<http://www.dopg.gr.jp>

Promotion

Group